

支援プログラム

児童発達支援事業所 きりんくらぶ

令和7年3月1日作成

事業所理念

将来、社会で生きていくために必要な力を身につけ、自立する心の育ちを目指します。

支援方針

活動を通して人と関わりながら集団生活を送ることで、一人でできることやことばを増やし、伝える力を育てます。

サービス概要

営業時間 9時～15時
サービス提供時間 平日（月～金曜日） 9:30～14:00
土曜日 9:30～11:30 ※ 事業所カレンダーによる
送迎実施の有無 有り

職員の質の向上に資する取り組み

- ・安全計画に関する研修
- ・防災対策に関する研修
- ・感染対策に関する研修
- ・虐待および身体拘束防止に関する研修
- ・BCP(防災、感染)に関する研修
- ・福祉サービス報酬改定に関する研修
- ・各種外部研修の参加と共有
- ・事業所内学習会の開催

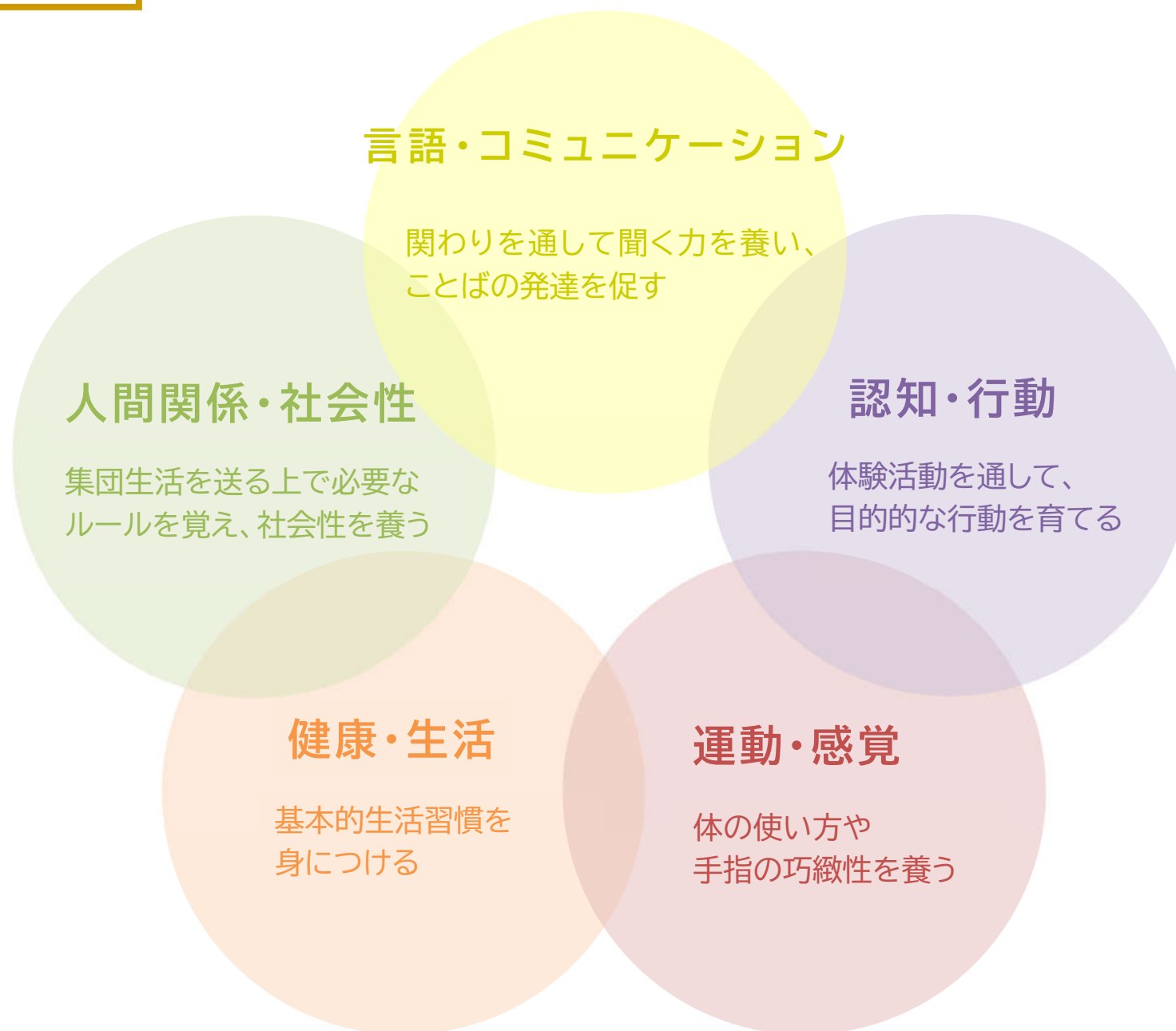
主な行事

- ・防災訓練(地震・火災・水害) 3回/年
- ・不審者対応訓練
- ・保護者会
- ・親子活動会



本人支援
5領域との関連性

5領域「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」に基づいた支援目標(以下)に沿って、プログラムを作成し、総合的に支援を行います。



プログラム	内 容	ね ら い	支 援 内 容	5領域との関連性				
				健・生	運・感	認・行	言・コ	人・社
生活習慣 の確立	着 替 え	・衣服の着脱が一人でできるようにする。 ・着替えの手順を覚えて、一連の処理ができる。	・上着、ズボン、靴下の着脱の仕方(前後・裏表) ・衣服の裏返しの直し方、畳み方	●		●	●	
	自己管理	・自分の持ち物が分かる。 ・持ち物の処理の仕方が分かる。	・タオル、衣服、給食袋、水筒など持ち物を仕分ける。 ・シンボルマークや名前シールの活用。	●		●	●	●
	ト イ レ	・排尿感覚を育てる。 ・トイレで排尿排便ができる。	・定時排泄で排尿する。 ・布パンツの使用。 ・尿意を伝え、自分でトイレに行く。	●		●	●	
	食 事	・スプーンやフォークの扱いを覚える。 ・好き嫌いなく、よく噛んで食べられる。	・スプーン、フォークの使用。箸の持参。 ・食事マナーの定着。(姿勢、食べ方など)	●		●	●	●
自立課題		・自分がやりたいものを自己選択する。 ・自由時間の使い方が分かる。	・パズルやひも通し、ひらがな積み木、塗り絵などの中から、やりたいものを選んで取り組む。		●	●		
体育遊び	個別体操	・曲に合わせて、色々な身体の使い方を覚える。 ・体幹の安定性を図る。	・色々な曲想の体操を取り入れる。		●	●		
	集団体操	・友達と動きを合わせて表現する。	・隊形移動や変化のある動きを取り入れる。		●	●		●
音楽遊び	うた・身体表現	・音楽に合わせて歌ったり表現したりする。	・曲想を捉えて、歌ったり身体表現をしたりする。		●			
	ペープサート	・歌詞(ことば)を聞き取る力を身につける。	・歌詞に合わせて、ペープサートや教具を操作する。		●		●	●
	楽 器		・挿絵を読み、歌詞の情景をイメージする。 ・楽器の扱い方を覚える。					
手 遊 び		・手指の巧緻性を促す。 ・自己選択、自己決定する力を身につける。 ・発表し、視点の違いや捉え方を学ぶ。	・手遊びを自分で選んだり、決めたりする。 ・皆の前に出て手遊びを行う。		●	●	●	

プログラム	内 容	ね ら い	支 援 内 容	5領域との関連性				
				健・生	運・感	認・行	言・コ	人・社
設定遊び 課題活動	おはなしを 聞こう	・絵本への興味関心を促す。 ・聞く力を身につける。	・絵本の読み聞かせ ・紙芝居					
	描いてみよう 作ってみよう	・道具の扱い方を覚える。 ・いろいろな素材を使って表現する。 ・顔を描いたり、色を塗ったりする。	・のり、クレヨン、色鉛筆、はさみ等の扱い方 ・折り紙やシール、自然物、廃材等を使って作る。 ・塗り絵やお絵描き					
	かずあそび	・活動を通して、目的的な行動がとれる。	・ルールのある遊びを設定する。		●	●	●	●
	やってみよう 育てよう 観察しよう	・認知を促し、概念形成を図る。 ・理解する力や伝える力を育てる。 ・社会生活に必要なルールや人との関わり方、コミュニケーション力を身につける。 ・集中持続力の育成を図る。	・畑の野菜や生き物の観察を行う。					
自由遊び	・おもちゃの扱い方を覚える。 ・イメージしたものを作る。 ・友達と協力して作ったり、遊んだりする。 ・友達とのやりとりの仕方を学ぶ。	・のりもの ・ままごと ・積み木、レゴブロック、ニューブロック等		●	●	●	●	
作業療法	身体の使い方	・体幹を安定させて、バランスを保つ。 ・手と足の使い方を覚える。	・運動遊び ・レクリエーション活動		●			
	手先の活動	・道具の扱い方を覚える。 ・細かな指先の使い方を覚える。	・制作活動 ・塗り絵、紐通しなど		●			
	身辺整理 生活習慣	・着替えのスキルを身につける。 ・食具の扱い方を覚える。	・実動作訓練(衣服の着脱、箸の操作)	●	●			

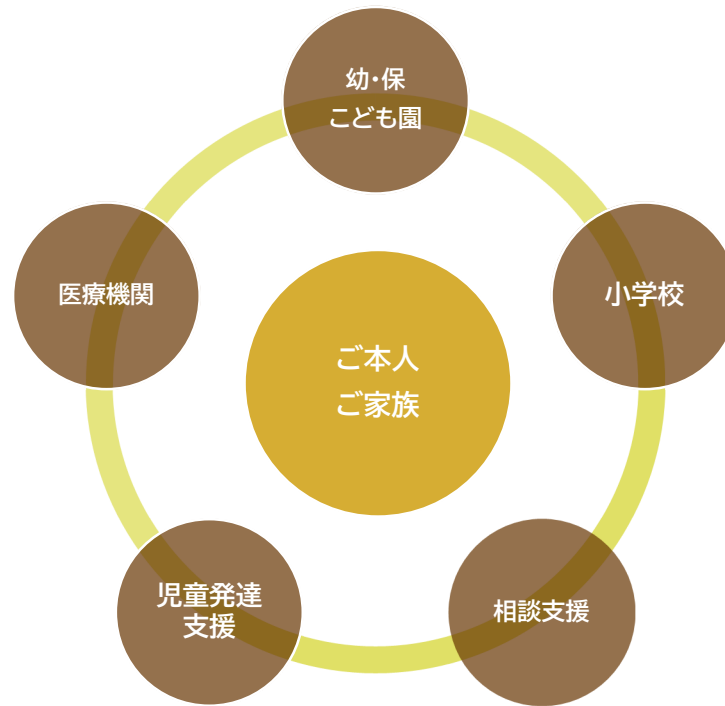
家族支援

ご家庭での困り事や心配事を共有し、ご本人に適した関わり方や配慮ができるよう支援します。

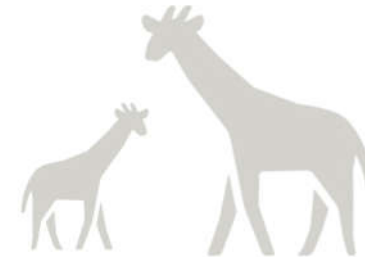
- ・ご希望に応じて相談援助(きょうだいに関する内容を含む)、支援場面の参観を実施
- ・親子活動会の実施
- ・保護者会やピア交流会の実施
- ・ペアレントトレーニングの実施

地域支援 地域連携

ご本人とご家族の生活を支える地域や各関係機関と連携を図り、繋がる支援を行います。



- ・ご本人、ご家族と各関係機関(幼保こども園、医療機関、相談支援事業所等)との連携
- ・ご希望に応じて、就学した小学校への保育所等訪問支援を実施



移行支援

幼保こども園において、ご本人が主体的に園生活を送れるよう訪問支援や相談援助を行います。

- ・幼保こども園との併行通園
- ・併行通園先の園や相談支援事業所との連携
- ・ご希望に応じて保育所等訪問支援を実施

ご本人とご家族が安心して就学が迎えられるよう就学準備を進めます。

- ・就学先に関する相談援助
- ・保護者および各関係機関(併行通園先、教育委員会、医療機関、相談支援事業所等)との連携
- ・就学先の小学校への引継ぎ(サポートかけはしシートの活用)